

2017年9月19日

日本語教育ワークショップ 2017 秋

テーマ：「作文能力を伸ばす方法を考える」

主催：

東海大学ヨーロッパ学術センター
谷口聡人(東海大学国際教育センター教授)

講師： 国立国語研究所教授 石黒圭先生

本ワークショップは皆様の支持と協力により8年 16 回目を数えることとなりました。取り上げてきたテーマは多岐にわたり、そろそろ二巡目に入る時期かもしれません。というわけで、今回は再度「書くこと」に焦点を当てることにしました(前回は2011年春でした)。以前のお話を少し振り返ると、書く作業に入る前の準備としての活動、漢字語彙の覚え方・使い方、作文の動機付けをいかに高めるか、作文の各プロセスの可視化・協働化というようなことがありました。今回は石黒圭氏(国立国語研究所)をお招きし、別の角度から(と言いましても、重なる部分はあるかもしれませんが)氏のこれまでの具体的な研究成果とそれに基づいた指導法を提示していただきます。また、実際に添削の仕方を考える中で学習者の抱える困難点を浮かび上がらせ、学習者の動機付けを刺激するフィードバックについて検討することになります。日本語教育のオールラウンドな実践家・研究者として数多くの成果を上げてきた石黒先生のお話に大いに期待しましょう。多くの皆様の参加をお待ちしています。

レクチャー及びワークセッション概要

石黒圭先生

作文の授業を担当することになった日本語教師にとって、頭痛の種は添削ではないでしょうか。添削には二つの問題点があります。

- ① 添削の対象:何を添削してよいか分からない。学習者の何に問題を感じているか、その困難点が見えないので、うまく添削ができない。
- ② 添削の方法:どう添削してよいか分からない。学習者によっては、真っ赤に添削されて返ってきた作文を見て嫌気がさし、そのままゴミ箱へ直行ということもありうる。

そこで、本ワークショップでは、学習者が作文を書くときに抱えている困難点を明らかにし、そうした困難点にたいし、学習者のモチベーションを高めるように、どのようにフィードバックをするか、その方法を考えます。

■ ワークセッション 1: 「作文シラバスを考える」 11月4日(土) 11:00~12:30

実際に学習者が書いた作文を素材に、参加者のみなさんに作文の分析作業をしていただきますが、最初ですので、2日間全体の見取り図的を最初に少しだけお示しいたします。内容は次のとおりです。

- ① 2日間のレクチャーとワークセッションの目的と概要を冒頭で紹介する。
- ② 学習者が作文を書くときに問題となりがちな日本語表現上の困難点を、日本語学習者のレベル別に整理する。
- ③ 実際の作文例を配布して学習者の作文の読点を分析し、量的データなども参照しつつ、その特徴を見ていただく。
- ④ 実際の作文例を配布して学習者の作文の全体構造を分析し、量的データなども参照しつつ、その特徴を見ていただく。
- ⑤ 上記③④の分析を踏まえ、作文シラバスという考え方を導入する。

■ **レクチャー: 「作文執筆のプロセスを考える」** 11月4日(土) 13:30~15:00

レクチャーでは、学習者が作文を書くプロセスについて研究に基づいた具体的な話をします。ワークショップ1の対象はプロダクト(産出された作文)ですが、レクチャーの対象はプロセス(作文を書く行為)です。

ワークショップ1で対象とした作文について、学習者がパソコンを用いて執筆するさいに、どの部分をどのように修正しているかを量的・質的に分析した内容を紹介し、具体的な分析観点は次のとおりです。

- ①修正数: 学習者がどのぐらいの回数修正を行ったのか。
- ②修正の種類: 学習者がどのような修正方法を用いたのか。
- ③修正の位置: 学習者が執筆中のどの箇所を修正したのか。
- ④修正の動機: 学習者がなぜそのような修正を行ったのか。
- ⑤修正の戦略: 学習者がどのような特殊な方法を使って修正を行っているのか。

こうした五つの観点から、これまであまり扱われてこなかった学習者の修正の実態に光を当てる予定です。プロダクトとプロセス、この二つの見方がセットになることで、作文を書くとはどういうことかが見えてくるはずです。

■ **ワークショップ 2: 「作文のフィードバックを考える」** 11月5日(日) 09:00~10:30

広い意味での添削の方法をご紹介します、ご参加のみなさんに実際にやっていただきます。具体的には次のとおりです。

- ①ヒントだけ出す添削: 学習者自身に修正表現を考えてもらう添削です。自己遂行力が身につきます。
- ②三色ボールペンの添削: 修正内容だけでなく、よかった箇所を示す添削です。学習者の作文を書くモチベーションが高まります。
- ③全文リライトの添削: 教師自身が全文リライトを行い、教室で共有する添削です。最終的に目標とするレベルが明確になります。
- ④カウンセリング式添削: 学習者と教師の対話で行う添削です。学習者がほんとうに書きたいことが書けるようになります。
- ⑤仲間どうしの添削: いわゆるピア・レスポンスです。学習者が伝えたい内容を先鋭化するのに役立ちます。

日時: 2017年11月4日(土) & 5日(日)

場所: 東海大学ヨーロッパ学術センター(TUEC)

Tokai University European Center

Vedbæk Strandvej 476

2950 Vedbæk

DENMARK

電話: (+45) 45 89 08 09

メール: tuec@u-tokai.dk(代表) / ワークショップ担当: 小林

申し込み方法: 下記「申し込み方法」の項目をご参照ください。

時間割:

11月4日(土)

10:15	受付開始
10:45	主催者挨拶、参加者自己紹介
11:00~12:30	第1セッション(ワークセッション①) 石黒圭先生 「作文シラバスを考える」
12:30~13:30	昼休み (TUEC で昼食を用意します。)/ 集合写真の撮影
13:30~15:00	第2セッション(レクチャー) 石黒圭先生 「作文執筆のプロセスを考える」
15:00~15:20	コーヒープレイク
15:20~16:10	第3セッション(教材・教室活動の工夫・tips 集)
16:20~16:50	第4セッション(発表①)
17:30~19:00	夕食 (TUEC で夕食を用意します。)/ あとかたづけ

11月5日(日)

07:00~08:30	朝食(宿泊された方は TUEC が用意したパン・牛乳・ジュース・野菜などを各自食堂で召し上がってください。)
09:00~10:30	第5セッション(ワークセッション②) 石黒圭先生 「作文のフィードバックを考える」
10:40~11:10	第6セッション(発表②)
11:20~11:50	第7セッション(発表③)
12:00~13:30	昼休み (TUEC で昼食を用意いたします。)
13:30~14:00	第8セッション(発表④)
14:10~14:40	第9セッション(発表⑤)
14:50~15:20	第10セッション(「まとめの討論」と今後に向けて)
15:30~15:40	閉会挨拶(閉会時刻は変更になることがあります)

各セッションの進行役はご参加の皆様にも分担をお願いいたします。

申し込み方法:

以下のリンク先にある申し込みフォームからお申し込みください。

<https://goo.gl/forms/9FaL9SHRpS1optu33>

発表申し込み締め切り(発表をなさる方): 10月13日

第4・6・7・8・9セッション(発表①、②、③、④、⑤:研究発表、機関紹介、教材紹介など)への発表申し込みをお待ちいたします。ご発表の内容は必ずしも今回のテーマと直接関係していなくてもかまわないことにいたします。

発表をなさることをご希望の方は、その旨を申し込みフォームの該当欄にご記入のうえ、**10月13日まで**にお申し込みください。発表をなさる皆様には、ワークショップ終了後にワークショップレポート作成のため、2・3ページの発表概要をご作成・ご提出いただきたく、お願い申し上げます。

参加申し込み締め切り(発表をなさらない方): 10月30日
第3セッション(教材・教室活動の工夫・tips集)について:

このセッションは、日ごろの教室活動や教材作成における工夫や疑問について、自由に話し合う時間として設けました。「こんな時、どうしたらいいだろう」「こんな教材があるのでおすすめ」など、現場の経験や疑問・アイデアなどについて、参加者同士で共有し情報交換する場として活用していただきたいと思えます。また、ここで取り上げられた点について、引き続きワークショップ開催中に、インフォーマルな形で参加者同士の情報交換が促されることを期待しております。

紹介したいことや取り上げてほしいテーマがおありの方は、申し込みフォームの該当欄にその旨をご記入ください。

ワークショップ参加費: 400,- DKK (2日間を通しての代金(食事代込み)です。)

ご宿泊について
TUECに宿泊をご希望の方へ

宿泊希望の方の人数が宿泊定員を超える場合、コペンハーゲン近郊にお住まいの方のご宿泊は遠慮していただくことがあります。恐れ入りますがホテルのようなサービスはありません。またバスルームは共同です。

宿泊費:

- 部屋代のほか、リネン洗濯代を頂戴いたします。
- 部屋をお1人でお使いいただく場合と、お2人以上の相部屋でお使いいただく場合とで、料金が異なります。申し込みフォームの該当欄で、ご利用形態の希望をお知らせください。

利用形態	一人で利用	二人以上で利用
部屋代(1泊)	200,-DKK	150,-DKK

リネン洗濯代(1回の滞在につき一律)	200,-DKK
--------------------	----------

例: 部屋をお1人でご利用、2泊の場合 200,-DKK × 2泊 + 200,-DKK = 600,-DKK
 ワorkshop参加費と合わせて、お支払額合計 400,-DKK + 600,-DKK = 1000,-DKK

お支払い方法:

ワークショップ参加費、また TUEC にご宿泊の方は宿泊費(部屋代及びリネン洗濯代)も合わせて、合計額をお支払いください。TUEC の銀行口座に、または当日現金でお支払いください。申し込み用紙の所定の欄でご希望のお支払方法をお選びください。

当日現金で支払われる場合のお願い:

まことに勝手ながら、所定の金額をデンマーククローネで、お釣りの無いようにご用意ください。

口座振り込みに際してのお願い:

お振込の際には、以下の口座番号をご利用ください。まことに勝手ながら、振り込み手数料・送金手数料を負担くださるようお願いいたします。**10 月 27 日まで**にお振込手続きをなさってください。

デンマーク国内から: Reg .No. 1471 (Danske Bank)
Account No. 4090329405

デンマーク国外から: IBAN (account number): DK3530004090329405
BIC (SWIFT-address): DABADKKK

石黒圭先生ご略歴

国立国語研究所日本語教育研究領域代表・教授、一橋大学言語社会研究科連携教授。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)。一橋大学国際教育センター教授を経て現職。専門は、日本語学・日本語教育学で、「読む」「書く」「聞く」「話す」という四技能の言語処理過程全般を研究している。対象とする分野が広いため、著書は多数に及ぶが、今回のワークショップのテーマ「書く」に関連するものでは、

『よくわかる文章表現の技術(全五巻)』明治書院、

『この 1 冊できちんと書ける! 論文・レポートの基本』日本実業出版社、

『正確に伝わる! わかりやすい文書の書き方』日本経済新聞出版社、

『「うまい! 」と言わせる文章の裏ワザ』河出書房新社、

『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』(共著)スリーエーネットワーク、

『日本語教師のための実践・作文指導』(編著)くろしお出版、

『わかりやすく書ける作文シラバス』(編著)くろしお出版(本年 11 月刊行予定)

がある。